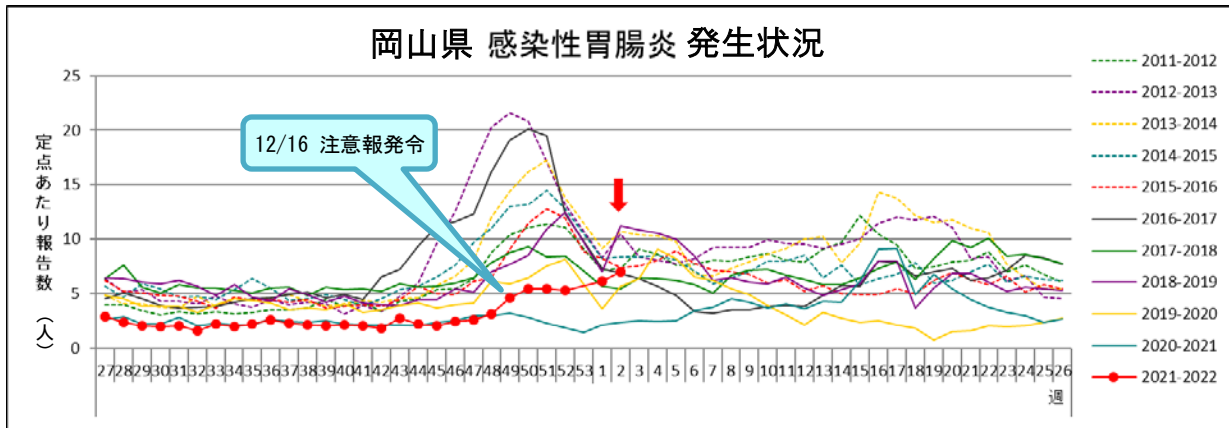


感染性胃腸炎週報 2022年 第2週 (1月10日～1月16日)

岡山県は『食中毒（ノロウイルス）注意報』発令中です

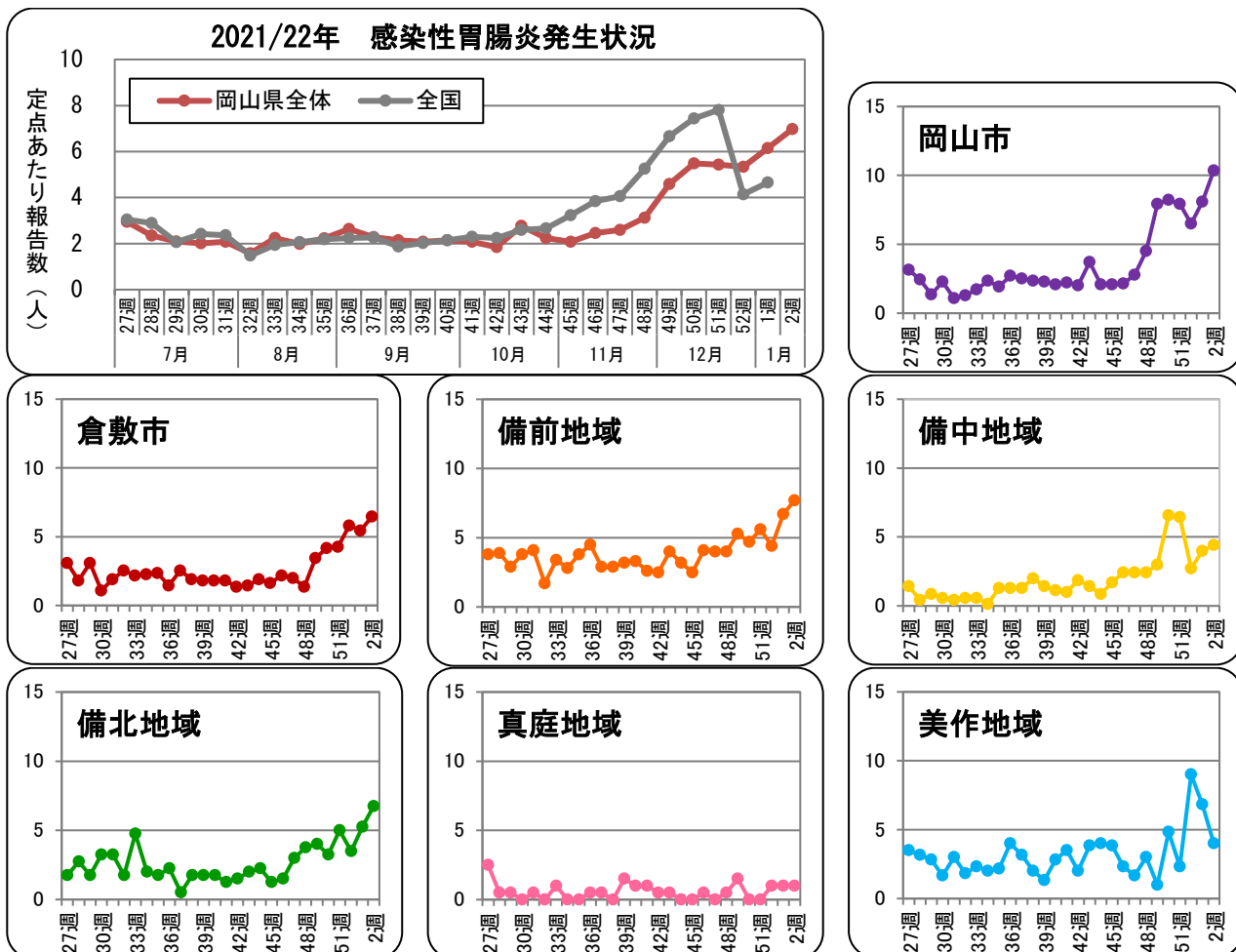
➤ 岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で377名（定点あたり6.98人）の報告がありました（54 定点医療機関報告）。

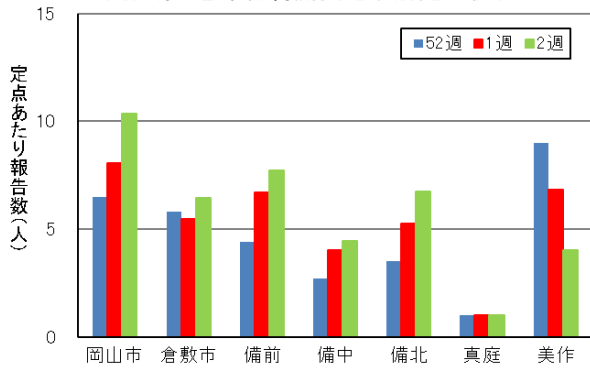


感染性胃腸炎は、県全体で377名（定点あたり6.15 → 6.98人）の報告があり、前週から増加しました。冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

◆地域別・年齢別発生状況



岡山県 感染性胃腸炎地域別発生状況



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2022年2週

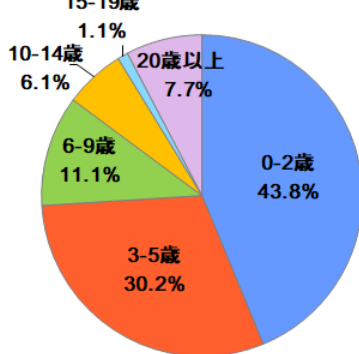


全県レベル1

レベル3		レベル1		報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12	0 < 20未満	0	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

感染性胃腸炎 年齢別割合 (第2週)



小児科定点（54 定点医療機関）からの報告によると、2022年第2週の年齢別割合では、0-2歳 43.8%、3-5歳 30.2%、6-9歳 11.1%の順に多く報告されています。

◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

<予 防 方 法>

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。これらを処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水処理または**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。

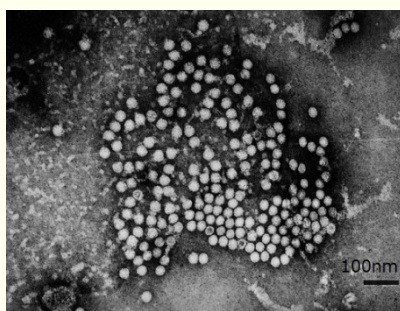
おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。



© 岡山県「ももっち」



※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。

[○ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）](#)

ノロウイルスの電子顕微鏡写真
岡山県環境保健センターウイルス科 画像

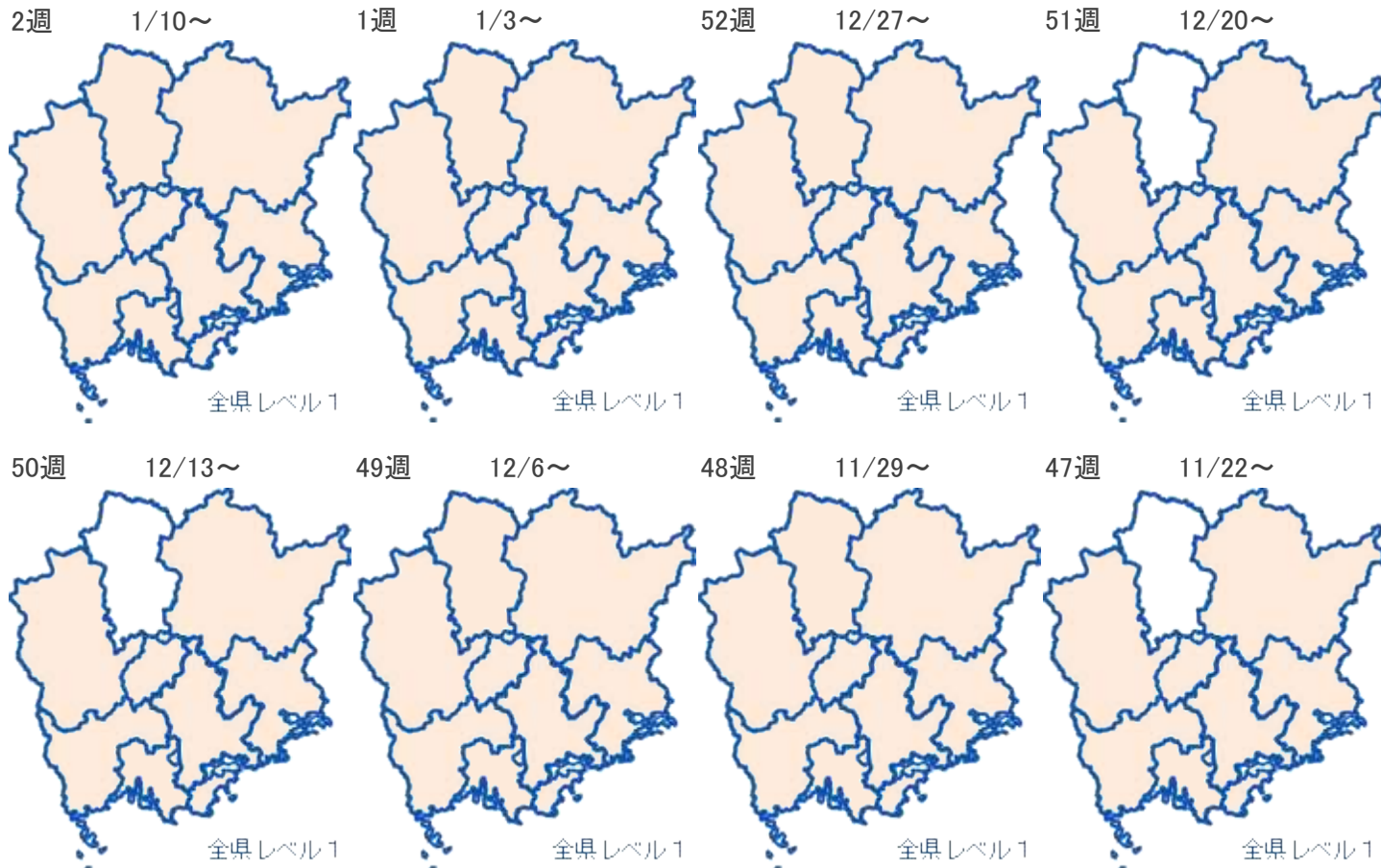




岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2022年 2週

2022年1月19日

11:09:06



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。